



福祉人材センター × 介護福祉士会

# ふくし・かいご通信

発行:社会福祉法人北海道社会福祉協議会  
北海道福祉人材センター ☎011-272-6662

2022  
1  
No. 4



北海道福祉人材センター  
HPリンク

北海道福祉人材センターでは、一般社団法人北海道介護福祉士会の協力を得て、福祉・介護に関する基礎知識や日常に役立つ情報を定期的に発行しています。

今月は…

## 私のかいごストーリー ～「あずましい」場所づくり～

一般社団法人北海道介護福祉士会 理事（札幌支部） 中村サユミ 氏

（居宅介護支援事業所・デイサービス あすか 管理者・生活相談員・介護支援専門員）



まだまだ介護職員 17年

『あずましい』とは北海道弁で、心地よい・安楽・安寧等の意味があり私的には居心地がいいと解釈しております。

『介護』と言う職業に興味を持ったのは祖母の痴呆（現在の認知症）からでした。当時介護保険が導入前な為、デイサービスは病院のサロンであり、冬季間は越冬入院がほとんどでした。祖母は「わしは100まで生きるからうまいものがいい」が口癖でとにかく気分屋さんだったので、病院のご飯に飽き、他の患者との関わりが嫌になると退院してしまいました。当初は訪問介護のヘルパーさんにお風呂や調理支援をお願いしたのですが、本人の気の向くまま生活の為、お風呂にお湯を入れているうちに行方不明になり近所のコンビニでワンカップを一杯やっていたということもしばしば。近所にデイサービスができ第1号でお世話になり、最初は日時がわからず出掛けてしまう為、よく家の前の椅子に家族で代わりばんこに一緒に座り送迎車を待つのが日課でした。そのうちにデイサービスの若い職員さんが毎回一生懸命に声を掛けてくれ、馴染んできたことで行くことを伝えるだけで自分から指に鍵をひっかけて心地良いお出掛けを待つことができるようになったことを今でも思い出します。そこで、デイサービスの職員さんの関わりに興味を持ち働き始めました。





デイサービスの仕事はお迎えから始まり、健康チェック、趣味活動、運動、レクリエーション活動、入浴、食事、おやつ、排せつ介助、年間行事等で、それを提供時間の中で行うことがどうしても必要なのかと勤めてから学びました。介護保険制度が年々変わり、私の事業所も地域密着型となり、特色は沢山の行事と外出、そしてボランティアさんや地域の方との関わりも多い事であり、様々な方と交流することで、話す、食べる、お風呂に入るだけではなく、デイサービスでの役割（職員はお手伝いと呼んでいます）を果たしに行かなくては

という気持ちになり、「今日は休もうとしたけど来てよかったわ。手伝いできたもの」と自信が付き、元気がでできます。そして職員の楽しみ・心地よさを持つようにとの声掛け方や関わり方によって良い反応が見られる様になります。私は皆さんそれぞれが生活している中でできる事を続けられる『あずましい』場所づくりを考えるのが今のやりがいです。長年勤めていると利用者さんのご家族がボランティアさんとなったり、祖母の当時の担当ヘルパーさんが介護支援専門員となり連携したり、デイサービスの職員さんと交流が今でもあったりと当時の大変なお話を聞くことができ嬉しい気持ちと同時に本当にお世話になりましたと頭が下がります。

人生100年、この仕事を続けていて良かったなと思うのはその瞬間とこの巡り合わせが、人と人との“つながり”であると感じ、一緒にいる事で元気がでたり安心したりすることも介護ではないかと考えております。皆さんも誰かの支えになる、そのことが自分の支えや人生のあずましい場所になる、そんな介護の仕事をしませんか？



今回は…

「介護の  
ワンポイント」

を予定しています。お楽しみに！！



一般社団法人北海道介護福祉士会は、介護福祉士の職業倫理の向上、介護に関する知識技術・経験を深めて資質向上を図り、北海道の福祉の推進に寄与している団体です。



TEL&FAX  
011-222-5200

北海道介護福祉士会  
HPリンク